

持って安心！ かかりつけ医

1 かかりつけ医の 見つけ方

風邪の症状や
予防接種など
気軽に初診を
受けてみましょう。

2 かかりつけ医は 何科がいい ですか？

何科でもいいです！

例えば、現在かかっている整形の先生に、具合が悪いことを相談してください。症状に合った病院を紹介してくれます。かかりつけ医は「内科」のイメージ

3 かかりつけ医は 相性も 大切ですか？

相性は大切です。



治療に関して、丁寧に説明してくれることを望む方、話をじっくり聞いてくれる医師がいいという方もいます。その人にとって話しやすいことや、分かりやすいことが大切です。

かかりつけ医とは、体調が悪いなと感じたとき、現状に不安を感じたとき、気軽に相談する近所のお医者さんのことです。かかりつけ医について、尾北医師会会長の今井英夫先生にお話を伺いました。

5 受診時の心構えを 教えてください

- 1 伝えたいことや聞きたいことをメモにして準備しましょう。
- 2 かかりつけ医にこれからの見通しを率直に聞くことが大切です。
- 3 受診後の症状の変化について、良くなっても悪くなってもかかりつけ医に伝えるようにしましょう。



6 夜間や休日に



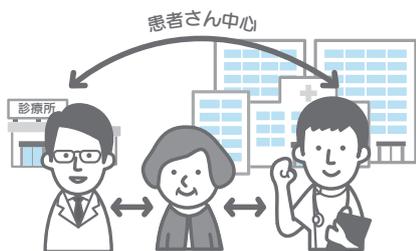
7
かかりつけ医を持つ

メリットは？

かかりつけ医は、患者さんの

病歴や日頃の健康状態を把握しています。体調の変化など何でも相談できるので、医療面で早めの対策がとれます。専門的な治療や手術が必要になれば、高度な医療機関との連携がスムーズにつながられます。また、基幹病院を紹介後、治療中の経過も含め、全ての諸症状など、引き続きかかりつけ医に相談ができます。医療は患者さんを中心につながっています。

一般の方が自己判断で受診を手控えたり、延期したり、あるいは、間違った対応策をとっているうちに重症化してしまうといったことが起きることがあります。かかりつけ医は、それも防ぐことができます。



4
かかりつけ医は

どの程度の病気までを

診てくれますか？

かかりつけ医の診療科、専門分野により、どの程度の病気まで診ることができると決まっています。

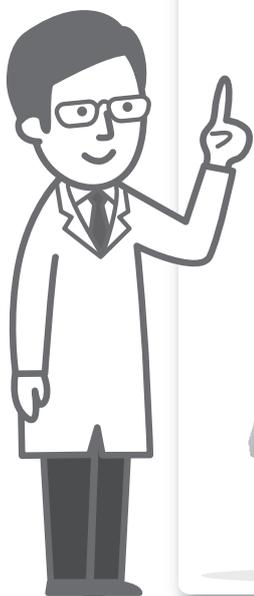


子ども具合が悪くなったら

お子さんは大人よりも症状が急に悪くなったりします。夜間や休日にも、子どもの具合が悪くなったりけがをした場合、救急車を呼ぶべきか、様子を見るべきか、判断に迷った場合は愛知県小児救急電話相談（#8000）に電話しましょう。小児科のお医者さんや看護師さんが症状などを聞いたうえで、救急車を呼んだほうがいいか、様子を見て、翌日かかりつけ医を受診するかなど、アドバイスをしてくれます。

（救急医療 5ページ参照）

現在、4人に1人以上が65歳以上という超高齢社会の日本では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で暮らしていけるよう、医療、介護、福祉などのサービスを一体的に提供できる体制の構築を進めています！
医師会では、かかりつけ医がその中心的な役割を果たすため、皆さんにかかりつけ医を持つことを呼び掛けるとともに、よりよい医療を提供できるよう研修会を開催するなど、能力の維持・向上に努めています。



「かかりつけ医を持つ」と いわれるようになった背景は

高性能かつ操作が難解な医療機器の登場や新しい治療薬の誕生などで、医療の世界でも、さまざまな技術がたくさん生まれており、それぞれの分野に長けたエキスパートも必要になります。皆保険制度の日本では医療にかかる費用は診療報酬（患者の自己負担と保険者（自治体や勤務先の負担）でまかなわれており、医療の進歩＝医療費の増加ととることもでき、医療費の効率化を進める必要があります。

また先進各国における高齢化が進んでいます。年齢とともにいろいろな症状に悩まされ病気にかかる可能性が増えることとなります。医師としてはこれらの症状や疾病を効率よく診断して治療することが大切になります。

例えば、右手がしびれて「脳梗塞ではないか…」と心配になったとします。そこで設備の整った大きな病院を受診し、MR検査の結果「脳梗



尾北医師会 会長

今井医院

今井 英夫 先生

塞ではない」と診断されると、脳梗塞ではないことに安心はできませんが、「では、しびれの原因は？ 次は何科を受診すればよい？ 他の病院を探さなくてはいけない？」と新たな心配事が生まれてしまいます。こうならないように不要な検査は減らして、できるだけ早く診断に至り治療が開始できる方がよいはずで、そうするには診断の効率化を図る必要があります。

そこで普段からその患者を診察し理解しているかかりつけ医なら、患者の相談役となり、多岐にわたる医療に適切につながるためのアドバイスができますし、大きな病院で治療を終え病状が安定したら、またかかりつけ医がその後の経過を診ることができます。他にも、かかりつけ医の紹介状なしに大きな病院を受診すると選定療養費を支払うこととなりますし、不要な検査にも診療報酬が

発生してしまいます。

まずはかかりつけ医を受診することが医療費の抑制につながったり、患者さん自身が必要な医療にかかる近道を選ぶこととなります。住み慣れた地域で暮らしていくうえで頼りになるのが身近なかかりつけ医なのです（3ページの「⑦かかりつけ医を持つメリットは？」をご覧ください）。

はしご受診 コンビ二受診

病気が治らないので病院を転々と受診する「はしご受診」や、休日・夜間に緊急性のない軽症患者が受診する「コンビ二受診」が問題になっていますが、多くの理由は、「今の辛い症状を早く改善したい」など、不安からではないでしょうか。「はしご受診やコンビ二受診を控える」ということは、決して「無理して我慢する」ということではありません。今受けている治療に不安があるならば、不安の原因をお医者さんに伝えてみるのが大切です。

「はしご受診やコンビ二受診を控える」ことの本質は、本当に必要な人が必要な時に医療を受けられるように、症状に応じて病院と診療所（かかりつけ医）を使い分け、「軽症の人は、より重症な人に診療の機会を譲りましょう」といことです。また、コンビ二受診やはしご受診では自身が支払う医療費も割高になってしまっていることを理解してください。

コロナ禍で病院へ行くのをためらいます

多くの診療所は、発熱者に対して、待合室や診察室を分けたり、診療時間を分けたりする空間的、時間的区別をおこなっていますので、ご安心ください。

しかし、新型コロナウイルス感染

症はインフルエンザとは違い、症状が出る前にウイルスのピークがくることや、症状のない保菌者もいます。厳密には、完全な対策とはいえませんが、診療所へ入るときの手洗い、マスクの着用、院内も含め、不要なものにやたら触らないことです。空間的・時間的に発熱者を分けてあっても、可能な限り密をさけ、帰宅時にも手洗いなどしっかりとしましょう。

待合室の混雑時には、自家用車の中で待つ。診察等の順番やおおよその時間を確認して自宅で待つ。予約を取ることができれば積極的に利用しましょう。

新型コロナウイルス感染症流行時は、担当の先生の許可がある場合、特別に電話による診察も可能ですので上手に利用してみてください。

救急医療

かかりつけ医が24時間365日対応するのは不可能です。かかりつけ医が休診のときに調子が悪くなった場合は別の診療所を受診し、緊急の場合は救急車を呼びましょう。

第一次救急医療(診療所)

診療所が休診となる日曜日、祝日等は、扶桑町・大口町の医療機関(広報おおぐち最終ページ参照)が在宅当番医制により対応しています。

第二次救急医療(江南厚生病院、総合犬山中央病院、さくら総合病院)

救急隊や第一次救急を担う医療機関からの要請に応え、入院または緊急手術等が必要な救急患者への対応をしています。

第三次救急医療(江南厚生病院)

第二次救急医療では対応できない重篤な救急患者に対応しています。

全国版 救急受診アプリ Q 助 (きゅーすけ)



総務省消防庁が作成したアプリです。救急車を呼ぶかどうか迷ったときに、役立つアプリです。



こども救急診療室 (江南厚生病院内)

かかりつけが医が休診となる土日祝日に利用できる小児救急外来
診察日 土曜日・日曜日・祝日 ※午後0時30分から午後1時30分
受付時間 午前8時30分から午後4時30分
診療時間 午前9時から午後4時30分 ☎ 0587-51-3333

愛知県小児救急電話相談 午後7時から翌朝8時

小児科医師や看護師に電話で相談ができます。

☎ # 8000

☎ 052-962-9900

